高２生用

甲斐塾講座案内

2026年

(71期生)

新入生・その保護者方へ

はじめまして。私が甲斐です。当塾は中１で入塾した者が高校卒業までの６年間を通い続ける“教育の場”です。長い歳月の間に仲間意識がはぐくまれ、先輩との交流もあって、塾全体が活気に満ちた若者の社交場にもなっています。彼等に健全な方向づけを与えるために、私自身、教育上のいろいろな模索をおこないました。そして今も探し求めているものは、スポーツや遊びに熱中できる気概を学習に導入させる方法です。この“おもしろいからやりたくなる”という学習を塾生に実践させたく、教材はもちろんのこと、講座の編成や運営についても様々な試みをなしています。例えば教科書的内容を塾と学校で反復するだけの学習にしていないのも、これでは、教わる者にとって一度見た味気ないテレビ番組をもう一度見せられているようなものだからです。それが成績を向上させる最良策だと叫んでみても、生徒達が意欲をかき立てるわけもなく、もはやこれは教育でないと考えています。

このような考えを推し進めようとして、今日の甲斐塾では卒業生も教壇に立ち、私に教育されつつある中学・高校生の受験勉強に助言と指導を与える役割を担ってくれています。私“甲斐さん”を共通の師として、教える者と教えられる者とが講座ごとになごやかな人間関係の輪をつくり、このような幾重もの輪の集合体が甲斐塾と言えます。我々が“甲斐さんファミリー”と呼ばれるのは、そのためなのでしょう。

甲斐　　喬

当塾の費用はすべて税込みで表示しています。

高２の講座を紹介します

講 座 名	曜日・時間帯	受講料	対象者・授業内容など
５数学Ａ　宮村	(水) 7:45～9:00 (土) 7:45～10:15	¥13,000.－	・６年間教育の５年目として「解析学」を中心に学習します。 ・理系生・２次の必要な文系生も受講できます。文理は途中で分けます。12月までに全高校数学終了予定です。
５数学個別	冊子裏の個別表参照	週１回で月額 ¥7,000.－	・学校での学習を教えます。文系生，理系新入生対象です。個別のみの場合は週２回が原則です。 ・曜日・時間帯は随時変更になりますのでお問合せください。
５英語千歳	週２回	¥11,000.－	・学校の進度に合わせて，少人数で授業します。 ・私学でレベルの高い内容を期待する人・学校の勉強がわかりづらい人など，個別に対応していきます。 ・水土18:30～19:45を高２生用にしています(それ以外も可)。
	週３回	¥15,000.－	
５物理Ｊ　物理科	(水) 9:00～10:15 (土) 9:00～10:15	¥13,000.－	・継続講座ですが，途中からも受講できます(下記参照) ・高２で，大まかに全分野を網羅することが目標です。数物が高２でできていれば，現役合格が近づいてきます。

注：◎**「月額の納入額」は、上記(下記)の受講料の合計に在籍料¥4,000.－を加算した金額となります。**

◎ 数学個別講座の受講料は，週あたり１回75分で月額7000.－です。週あたり２回受講する場合は月額14,000.となります。受講曜日・時間帯は，冊子裏の「個別の時間割」を参考にしてください。
ただし，いずれのクラスも少人数制ですので人数に限りがあります。講師と相談のうえ，決めていただきます。

◎ 数学Aについて
数学Aでは，既に学校で高２で習う学習もしています。高１時，塾で学習した高２の内容は，
「複素数平面・ベクトル・座標平面・三角関数・指数対数・(数列)」です。
「複素数平面・ベクトルに関しては高２でもう一度復習する予定です。
編入の方は、これらの分野を学校で習うときしっかり勉強してもらうのがベストですが、不安なら個別数学で追いついてもらうことも可能です。あなたのやる気次第です。
今年は宿題を課します。要提出。各自のレベルに合わせた宿題です。

◎ 文系用の数学は，途中で上記集団授業「数学A」より分岐して編成しようと思っています。
文系でも数学の必要な人は，まず「数学A」を受講してください。

◎ 物理は高１でも指導してきました。すでに，基礎物理の力学分野は終了しています。
高２から，途中編入の方は，追いついてもらうように，別メニューですすめていきます。

◎ 化学は塾では高１で指導してきましたが，学校では高２中心になることが多いです。
必要な場合は個別で指導することもできます。ご連絡ください。

新入生の入塾要領

・まず、別紙の「講座紹介」を読み、受講を希望したい講座・関心のある講座を見つけてください。
その後，電話で御連絡ください。日曜・祝日を除く，16:00～19:45にお願いします。
詳細の説明，あるいは，相談日を決定いたします。質問・要望などありましたら，お気軽にお問い合わせください。
・２月２日(月)より応募順に受付をおこないます。
「受講届」に，入学金・「月額の納入額」を添えて提出してください。
・数学Aや物理は高1からの継続講座です。一日も早く受講してほしいのでご連絡ください(追いつけるよう指導します)。
・継続生の動向により，受講時間帯の変更などをお願いすることもあります。ご了承ください。
・新年度は３月２日(月)より開始されます。自分の所属する講座の曜日・時間帯・教室を確認し出席してください。
なお，学校のテスト期間で調整することがあります。そこは連絡を取り合って相談しましょう。
・３月以降でも欠員があれば受講できます。「受付」に申し出てください。

継続生へ

・ 数学の授業中に，各自にアドバイスしますので，それを参考に受講講座を決めなさい。
個別授業のみを受けている人は，担当講師に説明を聞きなさい。
・ １月31日(土)までに受講届を提出しなさい。

こんなアドバイスも参考に！

◎　英語科の講師から

大学受験に英語が不必要なところはほとんどないので英語から逃げてはいけません。
学校の手伝い，単語・熟語テスト，英文法，速読マラソン，読解，入試準備など，様々なことを日曜日の補習も含めてどんどんやっていきます。

◎　数学科・理科の講師から

入学試験は定期試験のように限られた範囲の出題ではなく、全範囲から、しかも融合問題で出題されます。したがって、ひと通りの勉強をすませて、もう一度融合問題をする時間を設けねばなりません。そのために甲斐塾では高１の段階で，高２数学や化学を学習してきました。これらの講座を、理系生が主体である「数学Ａ講座」と「物理Ｊ講座」が引き継ぎます。

・共通テスト(あるいは私大入試)で数学を受験する文系生
　→センターでは「数学ⅠＡ」「数学ⅡＢＣ」の２つを受けることが望ましいです。
　　そのためには「個別講座」を週２回を受講しましょう。
　　理科に関しては化学・生物の１つだけが必要なので，今年度は受講する必要がありません。
　　化学が不安な人は個別で対応します(要相談)。
・入試で数学が不必要な文系生
　→学校の勉強が心配なら「数学個別講座」を受講してください。
　　理科に関しては化学・生物の１つだけが必要なので，今年度は受講する必要がありません。
・理系の継続生
　→まず「数学Ａ講座」を受講しなさい。しかし，塾での高１の様子を見ているとちゃんと理解している者と理解し切れていない者にわかれています。理解し切れていない人は自分で何とかするか，個別講座を受講しなさい。
　　今のうちに何とかしないと手遅れになってしまいますよ。数学Ａは12月末までに全高校数学を終わることを目標にしています。また理科に関しては「物理Ｊ」を受講すべきです。今から生物を選択というのは軟弱すぎます。
　　数学・物理もレベルにあった宿題を出します。学力の違いはそこで調整します。
・理系の新入生
　→「数学Ａ講座」を受講して，さらに「個別数学」で塾で高１時に教えた内容を勉強することをおすすめします。
　　物理を選択した者は「物理Ｊ」を受講してください。物理講座は高１からスタートさせていますが，そんなには進んでいないのでがんばって追いつけるように指導します。
　　「化学」「生物」の講座は高３で用意されていますが，学校の勉強の面倒を見てほしい者は「個別講座」を受講してください(要相談)。

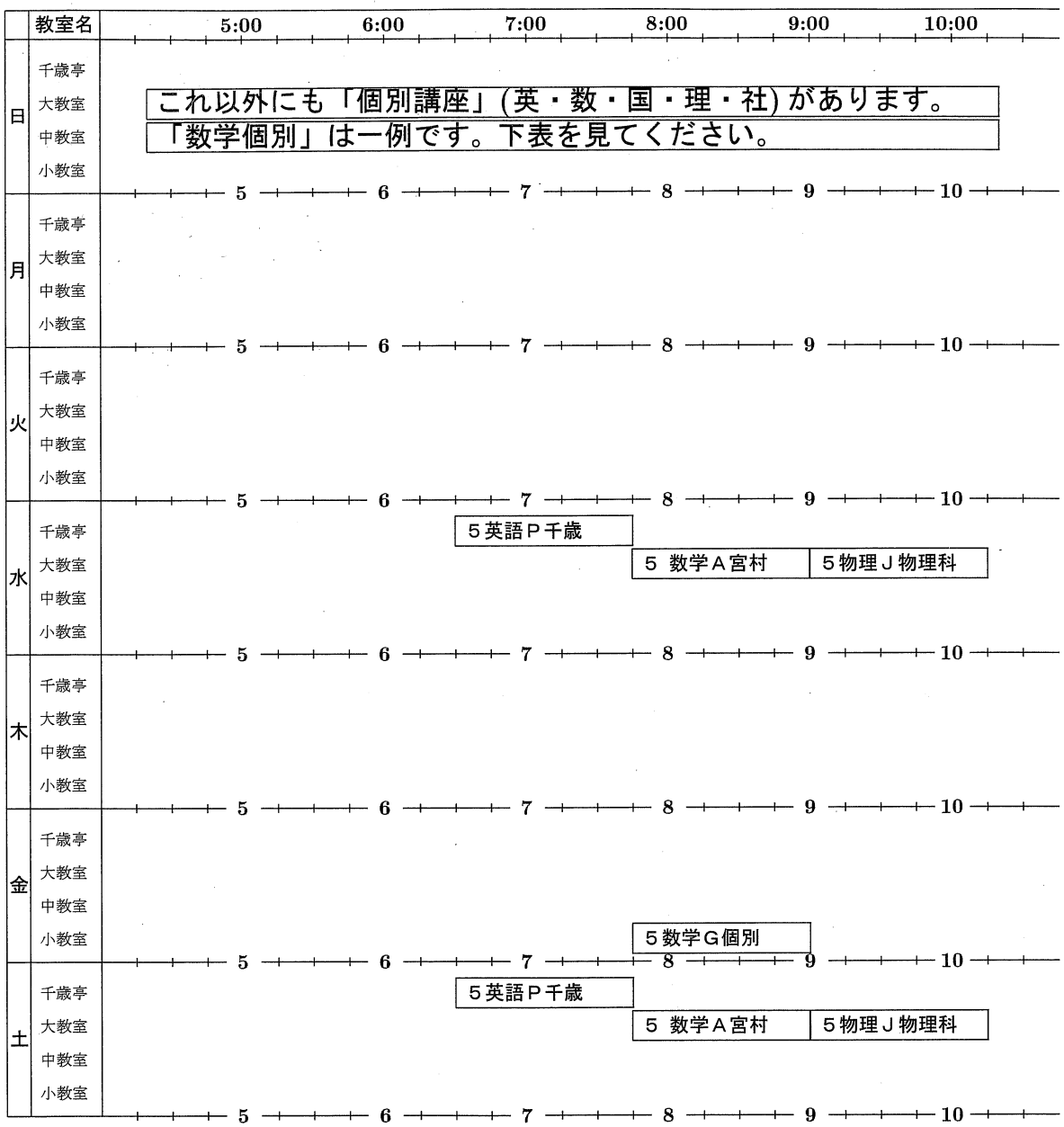
「物理Ｊ」が週２コマあるのは

物理は、克服できた人は満点が取れ、克服できなかった人は全く得点できない科目です。そのため学校のテストでも少数のできる人の集合と多数のできない人の集合に大きく二分されます。

ではどうすれば克服できるのでしょう。実は少々宗教めいた言い方ですが、物理学がわかるように洗脳を受ける必要があります。すなわち物理で使用する思考方法を自分のものにすることが必要なのです。多くの学問において重要な行為とされる「自分なりの方法で理解する」ということは、物理学では決して正しい行為とはいえません。というのも、物理では日常現象を取り扱うにもかかわらず、その考え方はあまりに非日常的なものであるからです。従って、自分なりの方法で理解しようとした人は、必ず「何となくわかった気がする」だけで真髄が見えずに終わってしまいます。

一例をあげてみましょう。日常では「壁が人によって押された力」も「人が壁を押した力」も同じものです。しかし物理学では、後者の「壁を押した力」で考えると初心者は全くわからなくなってしまいます。しかも、困ったことに、教科書や参考書に堂々と「壁を押した力」と書かれています。わかりにくい点をわかりやすく教えるので，君たちは自然に使えるようになるまでドリルし，洗脳されてください。

さて「物理Ｊ」の授業では、この洗脳めいたことを中心に授業が進みます。それだけでも週１回の授業では苦しいです。まして、授業中にドリルをするなんて余裕は全くありません。だからドリルは自分でしてもらう必要があります。そこはもレベルに合わせた宿題(課題)を出して，がんばってもらうことにします。



個別の時間割 （随時変わりますので，お問い合わせください）

・英語・国語・社会の個別は「英」より，数学・理科の個別は「数」より選んでください。
・空き人数は随時変わります。学年や内容によっても異なります。ご相談ください。
（別の時間帯にも空きができることもあります）

曜日	2:45～4:00	4:00～5:15	5:15～6:30	6:30～7:45	7:45～9:00	9:00～10:15
月		数	数	数	数	英　数
火		数	数	英	英	英
水		数	数	数	英	
木		数	数	英　数	数	英
金		数	数	数	英	英
土		数		数	英　数	英
第2･4日曜					英	

甲斐塾のきまりを了承してもらいます

1．新年度が開始されるのは？	どのクラスも３月から始まって、１年間の継続授業になっています。 途中での入退は自由にできますが、以下の手続きをしてください。
2．途中から入塾するときは？	「受付」に申し出てください。４月以降ならば授業を参観することが できます。
3．退講・退塾したいときは？	「受付」に申し出てください。月謝袋を提出してもらいます。なお、 手続きがなされていない場合は受講料を請求させていただきます。
4．クラス変更したいときは？	空席があれば自由に変更できます。「受付」に申し出てください。 ただし、月末に届け出るようにしてください。
5．受付業務を行なう時間は？	月曜日～土曜日の17時～21時です。 祝日や塾の特別行事，春夏冬休み期間は業務を行なっておりません。
6．電話による問い合わせは？	末尾の電話で応対いたします。ただし、授業中に講師や塾生を呼び 出すことは、できるだけ控えてください。
7．受講料を納入する方法は？	月謝袋を前月にお渡しします。前月中に納入してください(先払い制)。 納入された受講料は退講の場合も返金せず，おつりは来月分で調整いたします。
8．全休した場合の支払は？	納入していただきます。ただし病気・留学などの場合は，その限りでは ありません。可能な限り対応しますので，必ず事前にご相談ください。
9．納入金を滞納したときは？	前月までにお支払いがないときは滞納となります。すぐにお支払いください。 どうしてもの理由があるときは，ご相談ください。
10．面談を希望されるときは？	本人との面談は、本人自身が担当講師に申し出なさい。 保護者との面談は、日時を決めますので，御連絡ください。
11．授業の日が祝日のときは？	原則として授業も休みです。ただし高３講座などで授業をする場合が あります。そのときは、担当講師が前もって指示します。
12．暴風警報が出ていたら？	学校がおこなう処置に準じますから、夕方に警報が解除されても、 塾は閉鎖されます。
13．春、夏、冬の休み期間は？	一週間程度の休みを設けます。また休み期間に補習を設ける事もあります。 なおプロ講師には年に一週間ほど，別途に休みを設けさせていただきます。
14．塾内での飲食については？	ロビー・自習室では許可しますが、あとの処理(分別)をきちんとしなさい。 授業中の飲食は原則禁止ですが，詳細は講師の指示に従いなさい。
15．塾の備品を破損させたら？	悪質な場合は、それなりの処理をとらせてもらいます。共同で使用する物を いためつけるような生徒は、強制的に退塾させます。
16．自転車で塾に来ることは？	ルールを守る限りかまいません。指定の場所におきなさい。 夜間～昼間，塾の授業のない日の駐輪はできません。バイクは禁止です。

甲斐塾の所在地と連絡先です

所在地：〒612-0073 京都市伏見区桃山筒井伊賀西町17番地 千歳ビル２階
（京阪丹波橋駅 北改札口を出て，右へ(山手)。地上に出てきてスグ左手に千歳ビル２階）
（近鉄丹波橋駅 京阪への連絡橋 途中で降りて 右(北)へ200m，交差点に出る手前10m左，ビル２階）
電話 075（611）5555(17時～)
090（7870）4757(10時～15時)(宮村) メール **please@kaijuku.me**（宮村）
090（2282）6085(10時～15時)(千歳)

《太線の欄を記入してください。》

受　講　届

〈下記に示された個人情報は，当塾からの連絡・業務等に使用し，第三者に開示することはありません〉

生徒番号　７１

フリガナ：

氏　　名：　　男 女

届出日：令和　　年　　月　　日

生年月日：平成　　年　　月　　日

入塾学年：（〇で囲んでください）

中	中	中	高	新
1	2	3	1	規

学 校 名：　　高等学校

家族構成：記入例　父…警察官　母…家事　祖父…文具販売　弟…新小３

父 …		□ …		□ …	
母 …		□ …		□ …	

住　　所：〒

電話番号：（　　）　　－

友 人 名：同席したい友人があればその人の名前を書いてください。

当塾の在学生・卒業生の親族名または紹介者名：
（該当者があればその人の名前を書いてください）

希望講座：（受講を希望する講座名を〇で囲んでください。）

数　学	英　語	理　科
５数学Ａ宮村	５英語　　週１	５物理Ｊ物理科
５数学Ｂ	５英語千歳　週２	
５数学個別週１	５英語千歳　週３	
５数学個別週２		